

『じょうだんのつもりだよ』は通じません！

～インターネットトラブル事例集より～

実際の生活の中で思ったことを言えない人でも、SNSなどインターネット上では、匿名性を信じて、相手を批判する内容を書き込む人がいます。でも、それ書き込んでしまうと、犯罪になることがあります。こんなこと、あなたの身の周りにも起こるかもしれません…。





ちょっとしたうさ晴らしの
つもりの書き込みが
おお大ごとに
なっていました



たとえ冗談だとしても
誰かを脅したり世間を騒がせたりする
投稿はご法度です!

NG!

ハット
ご法度!!

犯罪になってしまう
こともあります



いったんSNSなどから距離をとり
感情に任せて
書き込みしないことが大切です!

1 2 3
4 5 6
腹が立つことがあったら
落ち着くために
6秒数えたり

す
深呼吸するのも
おすすめです

僕をモフモフしてもいいかも!

★解説

○通報により警察が動く

掲示板・SNSの運営者や見ている人からの通報で警察の捜査が始まれば、匿名の投稿者でも特定することができます。「冗談のつもりだったのに」などの言い訳は全く通じません。

○騒ぎが大きくなると

場所が示されれば、あなたの周りへの迷惑は避けられません。公共機関なら警察の動員も増え、お店なら営業妨害に。大事になれば、将来のあなたを苦しめる可能性も。

○こんな投稿を見つけたら

ターゲットが学校なら先生に、友人なら当人に、まず一報。そして、投稿者ではなく掲示板の運営側に通報します。通報ボタンがあれば押すなど、巻き込まれずに知らせる方法を!

<参考>・総務省「インターネットトラブル事例集（2023年版）」

https://www.soumu.go.jp/use_the_internet_wisely/trouble/